



明和病院だより



2015年5月号

(1) 新任医師のご紹介 (平成27年5月1日付)

★耳鼻咽喉科 須川 敏光 (医員)

5月から耳鼻咽喉科で勤務させていただきます須川敏光と申します。私は兵庫医科大学耳鼻咽喉科に入局、大阪府立成人病センターで頭頸部外科を3年間勉強させていただきました。皆様のお役に立てるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願ひします。

・専門：耳鼻咽喉科一般、頭頸部外科

(2) 医師から皆様へ

く こどもの食物アレルギー ③ 湿疹と食物アレルギーについて

食物アレルギーは色々な症状の出方がありますが、その一つに湿疹・かゆみがあります。ひどいとアトピー性皮膚炎と診断されます。このタイプは厳密な食事制限は不要で、症状を見ながらアレルギー食品を少しずつ摂取することができます。一方、食べた直後から2-3時間後までに、発疹、せき込み、喘鳴、嘔吐、腹痛などが出るタイプを即時型と呼び、命の危険を伴うこともあります。即時型アレルギーと診断された場合は、経験ある医師のもと、制限するか、免疫寛容(*こどもの食物アレルギー①参照)を期待して少しずつ摂取を続けるかを決める必要があります。



このように、同じ食物アレルギーでも制限が必要な場合とそうでない場合があるにも関わらず、不安から自己流で食事制限をしている方が多く、この豊かな時代に栄養欠乏のお子さんが増えているという困った現状があります。いろいろ勉強し、子供のためにと一生懸命食事制限をしているご家庭のお子さんがビタミン・微量元素不足によるくる病や皮膚炎になってしまうのは悲しいことです。

同様に知識不足のため適切な治療が妨げられている例としてステロイド恐怖があります。ステロイドは古くから様々な病気に使われており、医師は効果や副作用について熟知しています。内服や注射、塗り薬などがあり、内服・注射は量が多いため色々な副作用が知られています。一方、塗り薬の副作用はあっても軽微で大量を長期に使用しない限り問題になりません。ステロイドの塗り薬は慢性の湿疹の治療には不可欠ですが、この違いを理解せず副作用が怖いと拒否する方がおられます。

赤ちゃんの湿疹は食物が原因だ、だから血液検査で原因をつきとめ食事制限し、ステロイドは使わずに治そうと考える方がいます。でも最近は、

湿疹はアレルギーが原因のこともあるけれど、逆に湿疹をきちんと治さなかったことが原因で食物アレルギーになる子いるということが分かってきています。皮膚は外部の物質が体内に侵入するのを防ぐバリアです。湿疹部ではこの働きがこわれているため食物の成分が体内に入り込みます。消化管に食物が入ってくるのは普通ですが、皮膚から入ってくるのは異常事態です。ですから体はこれらの食物を侵入物と認識し、免疫反応＝アレルギーを起こすのです。湿疹から食物アレルギーにならないためには、治療効果の高いステロイド外用剤を適切に使用し、早く湿疹を治してあげることも大切なのです。アレルギーの診断、治療は複雑です。自己判断せず医師に相談しましょう。



*こどもの食物アレルギー①は「明和病院だより2月号」に掲載

小児科部長 川越 里佳



(3) 「トライやる・ウィーク」受け入れ♪

兵庫県独自の取り組みである「トライやる・ウィーク」も18年目を迎えました。「体験的な活動を通して、豊かな人間関係を築き、創造性を高め、生きる力を育む」ことを目標としており、今年も当院では次の5つの中学校からの受け入れを実施します。病院紹介・見学から始まり、実際に看護師や薬剤師、検査技師などの業務体験、また再診機の立会いや案内業務を通して患者様へのサポートも体験しています。普段の学校生活ではできないことを経験して、たくさんの思い出を作り、色々な仕事があって病院や社会は成り立っていることを学んでください。

- ・5/18(月)～22(金) 鳴尾南中学校
- ・5/25(月)～29(金) 浜甲子園中学校、鳴尾中学校、高須中学校
- ・6/1(月)～5(金) 学文中学校

(4) 医療講座(公民館主催)のお知らせ

- ・演 題：「動悸」でお悩みですか？
- ・講 師：循環器内科 医長 岡 克己
- ・日 時：5月15日(金) 14:00～15:30
- ・場 所：鳴尾公民館(Tel 47-3838) ※無料(参加自由)



(5) 「ピアノコンサート」のお知らせ

今月は第16回ピアノコンサートを次の通り開催致します。懐かしい歌やピアノ演奏を一緒になってお楽しみ下さい。

- ・日 時：5月28日(木) 15:30～16:20
- ・場 所：中央館4階 談話室



※訂正とお詫び

2015年4月号「(1)新任医師のご紹介」内において、循環器内科 東 晃平医師の専門が誤って表記されていました。正しくは「循環器一般」でした。お詫びして訂正させていただきます。

(編集発行人 事務部長 沖田 明弘)